

## ユーザー訪問

# あみごごちは、いかがですか？

## 『バスカラット』採用事例

身近になってきた老後の暮らしを、  
安全・快適にする浴室暖房

国分邸（福島県福島市）



リビングに続くサンルームは、自然な風情の庭を望む心地よい空間。国分さんの、1番のお気に入りの場所です

きれいな空気と美しい自然、あたたかな人情の町・福島市。国分邸は、その閑静な郊外の一角にあります。いまから11年前に、高齢になったときの暮らしを考え、バリアフリーの住宅に建て替えました。寝室から、玄関やリビングを通らず、トイレや浴室・洗面所に行かれるような設計としたのもその配慮。しかし当時は「細かいところまで随分気を配ったつもりでしたが、浴室の暖房までは気がまわらなくて」とのこと。

ご主人に続き、去年、奥さまも60代を迎え、いよいよ老後の暮らしが身近になってきたと感じたとき、気になったのが冬場の浴室の寒さです。浴室は、すまいの中で北西の1番寒い場所にあり、お酒好きのご主人が風呂場で倒れたら大変と心配になりました。そこで、なにか良い寒

さ対策はないかと工務店に相談したところ、工事費があまりかからず手軽に設置できる「バスカラット」を紹介されたのです。

早速、10月に設置、ちょうど1年が過ぎました。

### 入浴に・洗濯物乾燥にと、お孫さんにとっても大活躍

国分さんに、「バスカラット」を使ってみた感想をお聞きしましょう。

「既設の換気扇を取り外して付け替えただけなので、工事は3時間足らず、費用も工事費込みで、確か10万円くらいだったように思います。そんな手軽な機器なのに、乾燥・暖房・換気・涼風と、機能が充実」。初めは、ご主人のためにと付けた「バスカラット」でしたが、使ってみるといろいろなシーンで便利さを実感しているそうです。

たとえば、お正月に息子さんがお孫さんを連れて帰ってきたときのこと。「これまでは、3人の孫たちを次々お風呂に入れていたうちに寒くなり、湯冷めしそうでした。ところが今は、浴室があたたかく、とても快適です。それに、孫たちのたくさん洗濯物。冬場はカラットと乾かな



ご主人のためにと設置した「バスカラット」が、お孫さんや、気軽に泊まりに訪れる知人・友人たちにも大活躍

くて困っていましたが、家族全員の入浴が終わった後、浴室乾燥する際、生湯きの洗濯物をつるしておく、朝には気持ち良くさっぱりと乾いています。」

また国分家は、奥さまのお人柄もあって、「国分ペンション」と呼ばれるほど来客の多い家。近くのスキー場のホテル代わりに、知人・友人が気軽に訪れます。その宿泊客が、入浴後、一様に口にするのが「なんで風呂場があたたかいの？」との驚きの声。「それが、おかしくて」と、国分さんは楽しそうに語ります。

実は、国分さんが「バスカラット」の採用を決めた理由が、もう1つありました。「わが家は結構、家電品などで三菱製品を使っているのですが、アフターサービスの対応が良く、また、むやみに買い替えをすすめないので、日頃から信頼できる」と感じていたから。ユーザーにとって、商品性能がよいことはもちろんですが、長いこと使うものなので、アフター対応の良し悪しは、商品選びの大事なポイントになるようです。